

たんぽぽ

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より当施設の運営に対し、ご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は障害者福祉サービス等の報酬改定があった節目の年でした。介護保険サービスと障害福祉サービスを一体的に利用できる共生サービスや障がいのある方が安心して地域で生活することができるよう支援する自立生活援助など、障害者の高齢化、重度化に対応するサービスが新設されました。

当施設においても、利用者の方の平均年齢が40歳を超え、ご家族とのお話の中で、障がいの重度化・高齢化の話題が増えるようになりました。

また、施設設備も建設から22年を過ぎ、老朽化が目立つようになりました。

このような現状を考えますと、今後の当施設の運営に求められていることは明確であります。今後、施設の建替えに合わせ、利用者の方の重度化・高齢化対策の具体的な取組みに向けて進んでいきたいと考えています。

最後になりますが、今年もさらに、ご家族をはじめ、利用者の方々が安心して、その人らしく暮らせる施設を目指して、職員一丸となって努力してまいります。皆様のご支援とご協力のほどよろしくお願いたします。

くるみ邑美園施設長 日高一伸

ぜんざいパーティー！ ぜんざいを食べながら女子会！

12月20日にやよい棟でぜんざいパーティーを行いました。

甘い物を食べながら一年を振り返る女子会です。

材料を準備して、利用者の方々と一緒につくったぜんざいはとても美味しい味でした。

「来年もやりたい！」と利用者の方々にも喜んでいただきました。来年も楽しみにしててくださいね。



親子ふれあいの日 今年も盛り上がりしました！

10月27日（土）毎年恒例の親子ふれあいの日を開催しました。

利用者さん、家族の皆様、職員の親睦を深める事を目的に毎年行っている楽しいイベントです。

ミニ運動会に多数の保護者さんにご参加いただきありがとうございます。利用者の方々もとても喜んでおられました。

バザーでは地域の皆様へ協力いただき、美味しい一時を利用者の方々に楽しんで頂けたと思います。

来年の親子ふれあいの日も楽しんでいただけるよう、準備して参ります。どうぞよろしくお願い致します。（服部尚洋）



四ツ葉の里で人権同和研修。各施設から多くの参加者！



12月7日 石見養護学校を会場にして、四ツ葉の里の職員と地域の方を対象とした人権同和研修が開催されました。

四ツ葉の里では人権同和研修を毎年開催しています。

今年は「性同一障がい者の人権」について、京都府立高校教員の土肥いつきさんを講師に迎えました。

性同一障がいについて考えることは、少数の人々の問題を知ることにとどまるものではありません。

ありのままの自分らしく生きるためにはどうすれば良いのかという問いが隠されています。

くるみ邑美園から20名が参加し、人権について考える良い機会となりました。（勢田）

新職員紹介 調理に期待の新職員！美味しい食事を楽しみにしてください。



河野 千夏



食事提供を通して利用者の方の楽しみになれるよう支援していきたいと思っております。



上田 愛子



今年の秋より調理場へ入りました。早く職場に慣れるように頑張ります。

助成事業 室内で体を使って遊べる道具が増えました！

この度、一般財団法人島根県職員互助会の助成事業より、くるみ邑美園児童部へ余暇活動の備品を寄贈していただきました。

ターゲットボードやバランスクッションなど室内で楽しく体を動かすことができ、利用者の方々が喜んでおられます。（渡辺）



●福祉車両のご紹介●

加齢とともに車への乗降が難しくなってきた利用者様が増えてきました。歩行が不安定な方に安心して外出していただくために、福祉車両を購入しました。電動で座席が動き、スライドドアで開口部が大きいので、乗降しやすいと好評です。通院や外出に安心して出かけていただきたいと思います。



●行事予定●

- ・節分祭 : 2月予定。
- ・実習生受入 : 2月21日～3月14日
- ・年度末反省会 : 3月予定

【編集後記】

1月に入るとインフルエンザ流行の兆しが邑南町でも見られます。昨年はあすなろ棟でインフルエンザが猛威を振るいました。風邪やインフルエンザ、ノロウイルス等、冬は感染症の季節でもあります。しっかりと予防対策に取り組んで春を迎えたいと思います。（栗原）

ご相談・お問い合わせは

TEL:0855-95-0327 fax:0855-95-1991
Mail: kurumi@ohtv.ne.jp
http://www.ohtv.ne.jp/kurumi/



〒696-0102
島根県邑智郡邑南町
中野 3595-18



今年もサンタクロースがやってきました！

12月12日にクリスマス会を開催しました。利用者の皆さんが楽しみに待ち続けたお楽しみの行事です。調理部が腕によりをかけて作ったクリスマス特別お弁当とケーキを美味しくいただきました。各棟の出し物では利用者さんと支援者が一緒に工夫を凝らしたアトラクションで会場を盛り上げていました。今年には職員有志と地域ボランティアさんによる楽器演奏がありました。管楽器や金管楽器の生音に触れ、普段見る笑顔より、何倍も素敵な笑顔が溢れていた一日でした。(高垣)



くるみ吹奏楽部 初心者から経験者まで。毎週1時間の練習。初演奏はクリスマス会。

2年前の職員忘年会で「楽器を演奏したい。音楽で利用者さんのために何かしたい。」ひとりの吹奏楽未経験者の一言から、くるみ吹奏楽部の活動が始まりました。2年の間に活動に賛同してくれる仲間を7名集め、地域のボランティアの力を借りて、クリスマス会で初演奏を利用者の皆様に披露することができました。次回の活動予定は未定ですが、クリスマス会に限らず施設行事に積極的に参加していきたいと思っております。今後の活動にご期待ください。



親子日帰り旅行とお食事会



【アート班 お食事会】

12月5日、広島県にある温井ダムへ行ってきました。天候に恵まれた1時間30分の楽しいドライブです。美味しい料理と景色を楽しんできました。利用者の皆様の笑顔がたくさん見られた良い1日でした。(勢田)



【あすなろ棟・やよい棟 お食事会1班】

11月16日(金)に山口県の山賊へ食事に出かけました。この日の利用者の皆さんは朝から食事会を楽しみにされていました。日頃食べられないご馳走を食べて、バスの中では支援員との会話が盛り上がり、笑顔の絶えない一日になりました。(服部知紗)

【あすなろ棟・やよい棟 お食事会2班】

11月22日 広島県呉市に出かけました。あいにくの曇り空でしたが、バスの中から見える紅葉した景色に季節の移り変わりを感じることができました。目的地の大和ミュージアムでは10分の1スケールの戦艦大和をはじめ多くの展示物を見学し楽しい時間を過ごすことができました。(松川)



【親子日帰り旅行】

9月2日 親子日帰り旅行に参加しました。行き先は広島市内です。午前中は原爆ドーム近くの折鶴タワーに行きました。天候にも恵まれ最上階の展望デッキから市内を一望する事ができました。昼食後はディズニーのアイススケートショーを観覧しました。色々なキャラクターが氷の上を颯爽と滑り、会場を沸かせていました。(甲村)

STAFF VOICE スタッフボイス

スタッフの生の声をご紹介します。
今回のテーマは「支援していて嬉しい瞬間」です。

私が支援をしていて嬉しいと感じることは、利用者さんから「ありがとう」と言ってもらえる事です。自分も日頃から感謝を伝えなければいけないと気付く事ができました。(やよい棟 上田早也)

利用者さんの成長を感じた時が一番嬉しい瞬間です。できなかった事ができた瞬間に立ち会えた時は嬉しい気持ちで一杯です。(児童部 有井)

私を支えてくれたのは、利用者さんの明るい笑顔と、同僚の優しさだったと、改めて強く感じるとともに、感謝の想いでいっぱいです。今年も共に、たくさんの笑顔で過せますように。(ステップ班 西氷)

運動会 親子手を取り 嬉しげに 声援受けて パン食い競争
ぶどう狩り ロー杯に ほうばりて 笑顔溢れた 自立支援 (アート班 大畑)



生活の様子 各棟の普段の生活や取り組みについてご紹介します。

●あすなろ棟●

昨年の冬はあすなろ棟でインフルエンザが大流行しました。今年は元気で過ごせるように12月中旬に柚子湯を行いました。柚子の香りと成分で、お風呂上りの利用者さんから、柑橘系の良い香りがしばらく続いていました。季節を感じる行事を今後も取り入れていきたいと思っております。お風呂の写真はないので、イメージ写真です。(栗原)



●やよい棟●

やよい棟のみなさんは踊ることが大好きです。年に2回、夏祭りやクリスマス会で踊りを披露しています。クリスマス会が近くなると、利用者さんから「練習は??」と声がかかり、毎朝の掃除後に練習をして当日に挑みました。この度のクリスマス会では「男の勲章」を「やよいの勲章」に変えて、みんなで楽しく“つっぱり”踊ることができました。利用者さんと一緒になって楽しむ事ができたとても有意義な時間でした。(椿)



●ひまわり棟●

寒さも本格的になってきましたが、ひまわり棟のホールはエアコンと床暖房で春の暖かさです。暖かいのは嬉しいのですが、油断するとあっという間に湿度が低くなるので、加湿をして風邪をひかないよう配慮して毎日を過ごしています。(勢田)



●千鳥棟●

利用者の皆さんは大きく体調を崩すことなく元気に過ごされています。外も寒くなり、屋内での活動が多くなっていますが、運動不足にならないように、支援員がお互いに声をかけ合い個別の支援を心掛けています。(柳幸)



●児童部●

11月23日(金) 児童部利用者・保護者(家族)・支援者の親睦を深めることを目的として、親子遠足にでかけました。児童部の恒例行事に定着したこの遠足も5回目を数え、今年は日御碕観光や精肉店が経営されている焼肉バイキングを堪能しました。移動中の車内では家族対抗〇×ゲームを行い、大変盛り上がりました！この遠足で見せてくれた利用者さんの笑顔を日頃の生活においても、引き出せる支援を展開したいと強く感じました。(上田)

